

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社日本 IT ソリューションズ
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業促進に取り組むきっかけ・背景 産後パパ育休の法改正に伴う社内規則集の変更。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 お子様が生まれる社員に対して育児休業の個別説明を行った。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 産後パパ育休と通常の育休、パパママ育休プラス等制度の違いがわかりづらく、違いを表に落とし込み説明を行った。</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 代替要員を入れることで、他の社員への負担を軽減した。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 全社員に向けた育児休業制度の説明を行い、取得しやすい雰囲気作りを行っている。</p>

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 79 日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 会社から産後パパ育休についての説明があり、その内容を妻と共有して取得を決めた。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 産後トラブルと夜間授乳での寝不足で疲弊している妻を、家事面でも精神面でもサポートすることができた。長男と遊んであげることができた。</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 取得することを早い段階で周囲へ伝え、引き継ぐ方とのコミュニケーションを増やした。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 育児取得の経験を周囲へ伝えられるようになった。家事育児を滞りなく行うよう考えていくことで、段取りを考える力がついた。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 周囲のサポートを得るためにも、早めに周囲へ伝えた方が上手くいきます。無収入の月が発生するかもしれないので、お金の確認をした方が良いかもしれません。</p>